令和７年度採用
山梨県公立学校教員選考検査

中学校（美術）問題

「始め」という合図があるまで，このページ以外のところを見てはいけません。

注　　意

1　この問題は**8問5ページ**で，時間は**60分**です。

2　解答用紙は，**別紙**で配布します。**「始め」**の合図で始めてください。

3　**解答**は，それぞれの問題の指示に従って**解答用紙**に記入してください。

4　**「やめ」**の合図があったら，すぐやめて係の指示に従ってください。

5　**解答用紙を持ち出してはいけません。**

中学校　美術

1　中学校学習指導要領「美術」について，次の（1）～（4）に答えよ。

（1）　次は，「第２　各学年の目標及び内容〔第１学年〕　１　目標」の一部である。（　①　），（　②　）に入ることばを，下のア～カからそれぞれ一つ選び，記号で記せ。

> (1)　対象や事象を捉える造形的な（　①　）について理解するとともに，意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
> (2)　自然の造形や美術作品などの造形的な（　②　），表現の意図と工夫，機能性と美しさとの調和，美術の働きなどについて考え，［　A　］を生み出し豊かに発想し構想を練ったり，美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。

ア．活動　イ．環境　ウ．よさや美しさ　エ．視点　オ．課題　カ．見方・考え方

（2）　（1）のAに入ることばを記せ。

（3）　次は，「第３　指導計画の作成と内容の取扱い」である。（　①　），（　②　）にあてはまることばの組み合わせを，下のア～エから一つ選び，記号で記せ。

> 1(2)　第２の各学年の内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導については相互に関連を図り，特に（　①　）に関する資質・能力と（　②　）に関する資質・能力とを総合的に働かせて学習が深められるようにすること。

ア．①技能　②知識　　イ．①発想や構想　②知識
ウ．①技能　②鑑賞　　エ．①発想や構想　②鑑賞

（4）　次は，中学校学習指導要領解説「美術編」の「第４章　指導計画の作成と内容の取扱い　１　指導計画作成上の配慮事項」で示されている『「A表現」の指導計画の作成例』の一部である。作成例として示されている正しい表を，ア～エから一つ選び，記号で記せ。

A表現 ＼ 学年	(1)アと(2)		(1)イと(2)	
	感じ取ったことや考えたことなどを基に，絵や彫刻などに表現する活動		伝える，使うなどの目的や機能を考え，デザインや工芸などに表現する活動	
	描く活動	つくる活動	描く活動	つくる活動
第１学年				
第２学年				
第３学年				

ア.

A表現	(1)アと(2)		(1)イと(2)	
	描く	つくる	描く	つくる
１学年	○			○
２学年		○	○	
３学年	○			○

イ.

A表現	(1)アと(2)		(1)イと(2)	
	描く	つくる	描く	つくる
１学年	○	○	○	○
２学年	○			○
３学年		○	○	

ウ.

A表現	(1)アと(2)		(1)イと(2)	
	描く	つくる	描く	つくる
１学年		○	○	
２学年	○			○
３学年	○	○	○	○

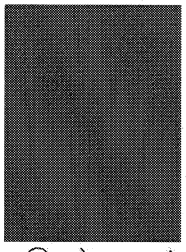
エ.

A表現	(1)アと(2)		(1)イと(2)	
	描く	つくる	描く	つくる
１学年	○	○	○	○
２学年	○		○	
３学年		○		○

2

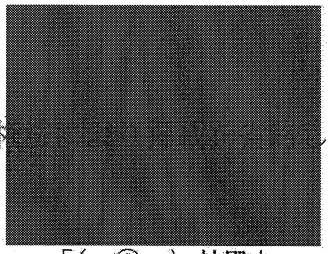
次のA～Cは，紀元前につくられたものである。下の（１）～（３）に答えよ。

A



「（　①　）のニケ」

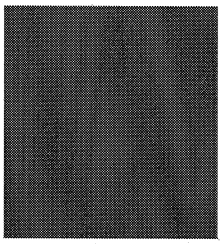
B



※著作権の都合により掲載できません。

「（　②　）神殿」

C



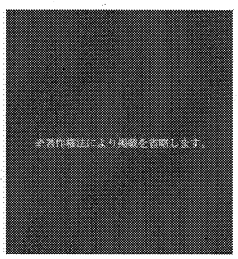
「（　③　）型土器」

（１）　A～Cの名称について，（　①　）～（　③　）に入ることばを記せ。

（２）　ギリシャの美術の歴史は，大きく４つの時期に分けて考えることができる。Bは，どの時期につくられたものか，次のア～エから一つ選び，記号で記せ。

ア．幾何学様式期　　イ．アルカイック期　　ウ．クラシック期　　エ．ヘレニズム期

（３）　右の作品の作者は，1951年，東京国立博物館で偶然見た縄文土器や土偶に衝撃を受け，翌年「縄文土器論」を発表した。この人物の名前を記せ。



作品名「縄文人」

3

次の（１）～（３）に答えよ。

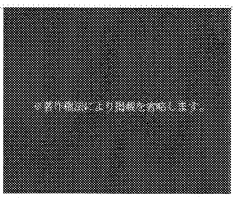
（１）　紅型とアットゥシは，それぞれある都道府県を代表する工芸品である。最も関係が深い都道府県を，次のア～カからそれぞれ一つ選び，記号で記せ。

ア．北海道　　イ．新潟県　　ウ．東京都　　エ．京都府　　オ．徳島県　　カ．沖縄県

（2） 次の文は，工芸品について説明したものである。（ ① ）にあてはまることばを，下のア～エから一つ選び，記号で記せ。

（ ① ）は，江戸時代に流行した装身具である。動物や器物などの細密な彫刻を施したものが多く，工芸品としても発達した。

作品名「眠り猫」
阪井正美 1991 東京国立博物館蔵



ア．根付（ねつけ）　イ．七宝（しっぽう）　ウ．堆朱（ついしゅ）　エ．鼈甲（べっこう）

（3） 次の文は，山梨県の工芸品について説明したものである。（ ① ）にあてはまることばを記せ。

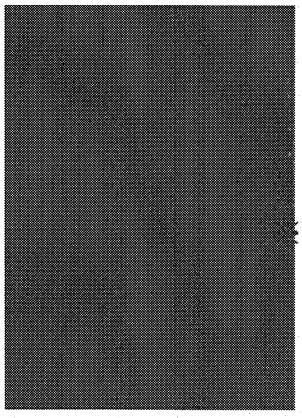
令和5年3月16日に山梨県指定の無形文化財に登録された，雨畑（あめはた）（ ① ）は，雨畑石と呼ばれる黒色の粘板岩からつくられている工芸品である。

4

次の（1），（2）に答えよ。

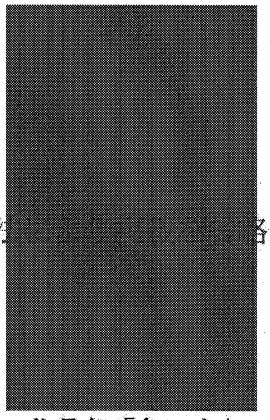
（1） 次の作品A～Cの作者名を，下のア～クからそれぞれ一つ選び，記号で記せ。

A



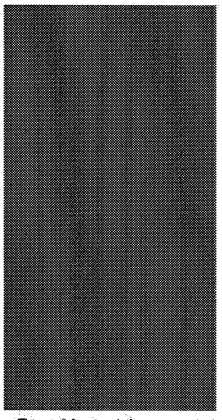
作品名「手」

B



作品名「冬の本」

C

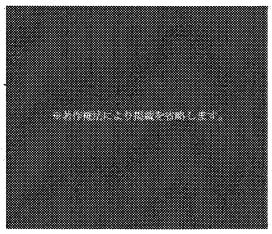


作品名「円筒を斜めに通りぬけるもうひとつの円筒」

ア．荻原守衛　イ．堀内正和　ウ．舟越　桂　エ．高村光太郎
オ．近正匡治　カ．柳原義達　キ．木内　克　ク．新海竹太郎

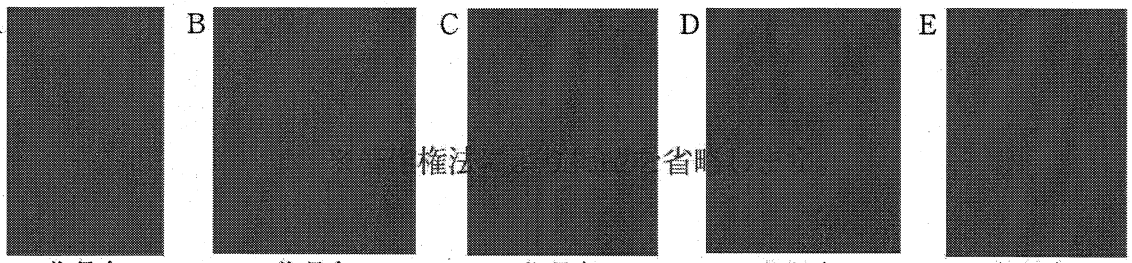
（2） 須田悦弘は，山梨県出身の美術家である。右の作品は，どのような方法で制作されたか，下のア～エから一つ選び，記号で記せ。

ア．生花　イ．木彫　ウ．塑造　エ．鋳造



作品名「モンタナ」

5　次の作品Ａ～Ｅは，自画像である。下の（１），（２）に答えよ。



Ａ　作品名「踵（かかと）としての自画像（パート２）」

Ｂ　作品名「34歳の自画像」

Ｃ　作品名「猿のいる自画像」

Ｄ　作品名「麦わら帽子の自画像」

Ｅ　作品名「毛皮のローブを着た自画像（28歳の自画像）」

（１）　作品Ａ～Ｅを，制作された年代の古い順に並べ，記号で記せ。

（２）　作品Ｂの作者は，下のア～オのどの芸術様式にあてはまるか，記号で記せ。

ア．マニエリスム　　イ．バロック　　ウ．ロココ　　エ．新古典主義　　オ．ロマン主義

6　次の（１）～（４）に答えよ。

（１）　次は，ある技法について説明した文である。この技法の名称を記せ。

> 紙に水を含ませ，十分伸びた状態で板に張り，乾かすと，それ以上伸びにくくなるため，絵の具で描いた際の紙のゆがみを防ぐことができる。

（２）　絵の具は，顔料と展色剤を練り合わせてつくられる。（　①　）にあてはまることばを記せ。

顔料	＋	アラビアゴム	＝	水彩絵の具
顔料	＋	乾性油	＝	油絵の具
顔料	＋	（　①　）	＝	日本画絵の具
顔料	＋	アクリルエマルジョン	＝	アクリル絵の具

（３）　日本の伝統色の説明として，誤っているものを次のア～エから一つ選び，記号で記せ。

ア．瑠璃（るり）色：濃い青色
イ．萌黄（もえぎ）：早春の草木の緑色
ウ．山吹（やまぶき）色：鮮やかな緑色
エ．茶鼠（ちゃねずみ）：茶色がかった灰色

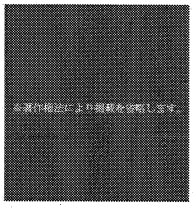
（４） 美術科の授業中，生徒から「アクリル絵の具と筆を使って，フチからはみ出さずにまっすぐな線を表現したい」という相談を受けた。生徒の思いを実現させるための具体的な描画法を二つ記せ。ただし，アクリル絵の具と筆以外の道具を使ってよいものとする。

7

次の（１）～（３）に答えよ。

（１） 次の文を読んで，（ ① ）と（ ② ）にあてはまることばを記せ。

1917年，（ ① ）は，男性用便器に偽名を署名した作品「泉」を展覧会へ出品しようとして物議を醸した。工業製品を選び作品として提示する（ ② ）の手法は，「作品は芸術家の手でつくられたものである」という芸術の概念や制度自体に疑問を投げかけた。



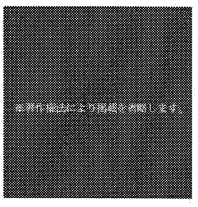
作品名「泉」

（２） 次のア～カは，作品名と作品の概要である。このうち，「テオ・ヤンセン」と「クリスト，ジャンヌ＝クロード」が制作した作品名と作品の概要を，下のア～カからそれぞれ一つ選び，記号で記せ。

ア．「アニマリス・ユメラス」風を動力に歩く生き物のような作品。
イ．「バルーンドッグ（青）」風船でつくった玩具をモチーフにした彫刻作品。
ウ．「サンダーストーム・チャイルド」ガムテープと新聞紙を使って表現した作品。
エ．「スタンディング・ウーマン」本物そっくりの人体を巨大なスケールで表現した作品。
オ．「アウト・オブ・ディスオーダー（コニーアイランド）」日用品を作品の素材にした作品。
カ．「包まれたライヒスターク，ベルリン，1971-95（帝国議会議事堂）」建物を布で覆った作品。

（３） 次の文は，右の作品について説明したものである。下の（ ① ）にあてはまることばを記せ。

右の作品は，2018年にニューヨークのオークションハウスで，43万2500ドル（約4900万円：当時の価格）という額で競り落とされた。「ＯＢＶＩＯＵＳ」というチームによる（ ① ）が描いた肖像画である。



8

第１学年を対象に，Ｂ鑑賞(1)ア(イ)の活動を通して，実感的に理解を深める授業を考えることとする。題材名，目標などを提示し，生徒が興味をもち，美術科で育む資質や能力が高められるような工夫のある授業の例を，図や言葉等でわかりやすく解説せよ。なお，今回設定する題材時数は１時間とし，実施時期は自由とする。

※Ｂ鑑賞(1)ア(イ)：目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り，作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして，見方や感じ方を広げること。

令和７年度採用　山梨県公立学校教員選考検査

中学校美術　解答例

1	（1）	①	エ	②	ウ
	（2）	A	主題	（3）	エ
	（4）	イ			

各３点：１５点

2	（1）	①	サモトラケ　のニケ	②	パルテノン　神殿
		③	火焔（かえん）　型土器	（2）	ウ
	（3）	岡本太郎			

各３点：１５点

3	（1）	紅型	カ	アットゥシ	ア	
	（2）	①	ア	（3）	①	硯（すずり・けん）

各３点：１２点

4	（1）	A	エ	B	ウ
		C	イ	（2）	イ

各３点：１２点

5	（1）	E → B → D → C → A	（2）	イ

各３点：６点

6	（1）	水張り	（2）	①	膠（にかわ）
	（3）	ウ			
	（4）	１．筆とガラス棒を平行に持ち、定規の溝にガラス棒を滑らせて描く。（溝引き）			
		２．マスキングテープを貼った上から絵の具で描き、乾いたらテープを剥がす。			

（1）（2）（3）各３点、（4）各２点：１３点

7	（1）	①	（マルセル・）デュシャン			②	レディ・メイド	
	（2）	テオ・ ヤンセン	ア	クリスト ジャンヌ=クロード	カ	（3）	①	ＡＩ

各３点：各１５点

8	題材名： 本時の目標： （採点基準） ①目標の設定 ・育みたい資質や能力を高めるような目標になっているか。 ②わかりやすさ ・生徒に伝えたいことが正確に表されているか。 ・生徒がしっかり感じ取ったり考えたりする内容になっているか。 ③興味をもたせる工夫 ・ＩＣＴなどを活用したり，効果的な活動を取り入れたりするなどして，生徒が興味をもてるような工夫をしているか。 ④画面の使い方 ・与えられた画面を無駄なく有効に活用されているか。

１２点